

暦の上では立春を迎え気温が緩む日も多くなりましたが、まだまだ空気が乾燥した日が続いています。出張所が所在する岐阜県西濃地域では、インフルエンザが流行しています。2月は今年度の業務の仕上げに向け、また来年度業務の準備に邁進する月となります。健康管理に気をつけて、業務を遅滞なく行いたいものです。

### 越美山系大規模土砂災害合同防災訓練

大規模地震の発生に伴う大規模土砂災害に対して、迅速かつ正確な災害対策業務を遂行することを目的とし、1月25日に揖斐川町役場防災対策室において、越美山系大規模土砂災害合同防災訓練を実施しました。

昨年度末に策定された「大規模土砂災害における地域連携マニュアル(案)」の公表後、初の合同防災訓練であり、ダム管理者との連携を目的に、(独)水資源機構徳山ダム管理所と中部電力(株)西平ダム管理所が初めて参加しました。

今年の訓練は学習型で行われ、直下型地震により天然ダムや地すべり等の大規模土砂災害が発生したとの想定で、過去の合同防災訓練で抽出された課題への対応や、関係各機関との連携対応を図り、共通認識を形成することに留意しながら進められました。刻々と変化する状況設定に苦労しながらも、中部地方整備局、岐阜県、本巣市及び揖斐川町等からの参加者は、真剣に訓練に取り組みました。

当事務所は、今回の訓練の成果を活かし、実際の災害に備えていきます。



宗宮孝生揖斐川町長(右)  
岩男忠明事務所長(左)



各機関や揖斐建設業協会と  
連携し応急対策を検討

### 砂防教室の成果発表会 = 揖斐川中学 =

1月29日に揖斐川中学校において、同中学校1年3組の生徒さんが、総合学習「揖斐川を大切にしよう」というテーマで、当事務所を昨年訪問し学ばれた成果の発表会があり、当事務所の河野副所長と柴原総務課長が見学させていただきました。

どの班も真剣に取り組み、クイズ等いろいろ工夫してプレゼンテーションを行い、当事務所が伝えたかったことを的確に捉えて他の生徒さんに伝えてくれている様子に感動しました。

今後もこのような取り組みを続けていただけたらと、切に願います。



プレゼンテーションの様様



講評を行う河野副所長

### 発注者の綱紀保持に努めます

中部地方整備局コンプライアンス推進本部によるモニタリング聴取調査が、1月27日に当事務所会議室において行われました。岩男事務所長より、応接場所の可視化の一環として副所長室の相部屋の実施、コンプライアンス意識徹底を目的とした全4回のミーティングの実施、並びにコンプライアンス講習会及びe-ランニングシステム研修への全職員参加等の当事務所の取り組みを説明しました。

当事務所では、国民の信頼を確保していくため、今後もコンプライアンス意識の徹底を図り、発注事務に係る綱紀の保持に努めていきます。



今回の調査は、TV会議システムを通じて行いました

### 来年度も「里山探検隊」実施を決定

今年度の広報活動全般の課題を検討し、来年度の活動方針を決定することを目的として、今年3回目となる広報会議が1月22日に行われました。

今年度開催し好評を得た「里山探検隊」について、来年度も開催する事が決定し、現在、募集要項や内容等の詳細決定の作業を行っています。詳細については確定し次第、本誌面上でお知らせします。



参加者募集ポスターの一部

### 砂防堰堤工事に着手 = 大蔵谷 =

揖斐川町樫原(かしはら)地先の大蔵谷(おぞうたに)に堰堤高H=14.5mの鋼製透過型砂防堰堤を設置し、溪流の上流部で発生・流下する土石流や流木を捕捉し、下流のR303号の保全や揖斐川本川の急激な河床上の防止を図ります。

大蔵谷の流域及びその周辺は谷汲断層が通っており、断層の影響により脆弱な地質となっています。周辺では平成18年の「東横山地すべり」や平成20年の西濃豪雨により下谷(しもたに)で土石流が発生し、被害が発生しやすい地域です。

砂防堰堤を整備する事により、地域の生命と財産を守ります。施工は西濃建設(株)が行います。



堰堤設置箇所

今年度も残り2ヶ月を切ってしまいました。各現場は完成に向けてラストスパートをかけています。その中で3箇所の現場が完成を迎えようとしています。どの現場も冬期は雪深い箇所となるため、工程を工夫し降雪の前に出るだけの施工を行い、予定工期よりも早く現場を終わらせる事ができました。

## 再度災害の防止へ =地谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかも)地先で工事を進める地谷(ちたに)第2砂防堰堤工事(施工:西建産業㈱)は、平成24年9月台風16号の豪雨により土石流が発生し、流下した土砂と流木で県道橋を閉塞し通行不能になるなどの被害をもたらした溪流に、砂防堰堤を設置し再度災害を防止するものです。本年度予定していた工事が完成しました。

本工事箇所は、土石流により堆積した土砂や巨石が厚く堆積しており、支持地盤まで掘削するのに大変な労力が必要な現場でした。



主堰堤の一部が完成

### 現場技術者の声



現場代理人  
西建産業㈱  
佐藤 武志 さん

施工箇所は旧スキー場内にあり、1月～3月は積雪2m以上・気温は-10°前後になる高地でした。最大の課題は、いかに条件のいい年内に施工を進めるかでした。そのため工程を出来るだけ前倒しし、主要な作業は年内に終了させる事が出来ました。これは、現場に従事した関係者の熱意と安全に対するスキルの高さがあったからこそ成し遂げられた事と思います。また、地元の皆様のご理解とご協力に対して感謝申し上げます。

## 伏流水の切り回しに苦勞 =矢中谷=

揖斐川町東横山(ひがしよこやま)地先で工事を進める矢中谷(やなかたに)第2砂防堰堤流木対策工事(施工:西濃建設㈱)は、既設堰堤の補強と流木止めを設置し、土石流と共に流下する流木を捕捉する機能アップを目的に行われました。

本堰堤は既に満砂しており、通常の流水は堆砂敷きへ浸透し、堰堤に設置されていた暗渠より排水されていますが、本工事により暗渠が無くなったため、行き場を失った浸透水が工事現場内で湧き出してしまうなど、その処理に大変苦勞しました。



機能アップした砂防堰堤



監理技術者  
西濃建設㈱  
高木 克英 さん

現場までのアクセスは、新川尻橋の架け替え工事を行っていたため、上流のどンドン橋まで大幅に迂回しての工事でした。

また、仮設工事時期に台風や雨やと重なり、河川が増水しなかなか本体工事に着手出来なかったにもかかわらず、冬期施工が困難な箇所なため、なるべく前倒しで施工するために、各協力業者、関係者の皆様にご協力いただき、期限内に無事故で現場を終えることができましたことお礼申し上げます。

## 天狗谷橋と命名 =高地谷3橋=

揖斐川町小津(おづ)地先で工事を進める高地谷(たかちたに)第1砂防堰堤上流地区道路工事(施工:西濃建設㈱)は、堰堤を建設する事により、通行ができなくなる既設林道の付替え工事で、付替え区間終点の天狗谷(てんぐたに)に28mの橋梁を架け替えました。架け替えた橋梁は「天狗谷(てんぐたに)橋」と命名されました。

A2橋台の深礎杭の施工中に、想定よりもろい地質の箇所が出現し、孔壁の崩壊が懸念されましたが、現場技術者の適切な判断と対応により無事乗り切り、何事もなく完成する事が出来ました。



完成した天狗谷橋



監理技術者  
西濃建設㈱  
松原 則孝 さん

当初、A2橋台の施工は、橋台下流側面より掘り下げ重機を入れるつもりでしたが、急峻な谷のため橋台前面に施工ヤードを設けることが厳しく、また、出水により架設支保が影響を受けることを考慮し、コルゲートを設置し埋め立てて施工を行ったことが、安全で安定した現場運営につながりました。

地元の方々、協力会社の皆様には、ご理解・ご協力いただきありがとうございます。

### お詫びと訂正

平成25年11月20日発行のクマタカ通信vol.65で、架け替えた橋梁の橋名を「天狗倉谷橋」と紹介しましたが、正しくは「天狗谷橋」でした。お詫びするとともに、訂正させていただきます。

## 本巣市合併10周年記念式典

2月1日に本巣市民文化ホールにおいて、本巣市合併10周年記念式典が行われました。市長式辞、来賓祝辞、特別表彰等に続き、同市文化交流大使を務める宗次郎さんと根尾中生氏によるオカリナ演奏の記念ミニコンサートが行われました。一般市民を含む会場の総勢約400名は、同市の益々の発展を祈念しました。

当事務所も砂防事業を通じ、地域の発展に寄与していきます。



式辞を読み上げる  
藤原勉本巣市長



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: [ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp](mailto:ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp)